

未来の担い手を育み、生き生きと学べる環境の充実

すこやか子育てプラン推進

867億6844万円  
 未来を担う子どもたちが健やかに育つことができるよう、児童館遊戯室へエアコンを設置するなど活動の場の充実に向けた取り組みを進めます。物価高騰による公立保育所や小・中学校の給食材料費増加分を公費により負担するなど安心して子どもを産み育てることができるよう目指して、各種施策を推進します。

妊娠前から出産・子育て期にわたる切れ目のない支援の充実

768億9608万円  
 就労要件を問わず、時間単位で柔軟に保育施設等を利用できる新たな保育給付の創設を見据え、「(仮称)こども誰でも通園制度」を試行的に実施し、多様な保育ニーズに応じた支援を強化します。また、特別支援保育の対象に重度の障害のある児童等を新たに加え、公立保育所における環境整備を行い、障害のある子どもへの支援の充実を図ります。

母子保健の充実

13億2047万円  
 妊婦健康診査費用への助成額と助成回数を拡充するとともに、早期かつ適切な不妊治療の開始を促すため、不妊検査および不妊治療に係る先進医療に要する経費への助成を行います。産後ケア事業においては、住民税非課税世帯等の自己負担額を無料化するなど、利用促進を図ります。

地域社会全体で子どもの育ちと子育てを応援していく環境づくり

4億9965万円  
 男性の育児休業取得を促進するため、男性従業員が一定期間以上



「みんな子育てフェスタ」では、親子で一緒に楽しみながら子育てを学ぶことができます

の育児休業を取得した中小企業へ奨励金を交付します。また、公園等における自由な遊びを支える活動の充実を図るほか、幼少期から文化芸術に触れる機会を創出するため、幼稚園や保育所等にアーティストを派遣する事業を実施するなど、社会全体で子どもの育ちを応援する環境づくりに取り組みます。

仙台子ども財団運営

9374万円  
 子ども中心の社会づくりを目的に設立した「仙台子ども財団」に対して、子ども・子育て支援事業に係る運営費等を助成します。仙台子ども財団では、子育てに関する



市内の中小企業数社を「男性育休取得チャレンジ企業」に選定し、男性の育児休業取得をサポートします

る参加型のワークショップやセミナーを開催するなど、さまざまな団体と連携を深めながら、子ども・子育てを支える機運の醸成を図ります。また、専門家等によるサポートを通して、働く男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりを後押しします。

学校教育施設整備

218億1593万円  
 老朽化した学校施設の増改築等を進めるとともに、増改築等の際の空調設備設置に関する条件整理を行います。また、当面増改築等のない学校の特別教室にルームエアコンを整備するほか、体育館へ大型冷風機を整備します。さらに、トイレの洋式化等により、良好な学校教育環境の確保につなげます。

35人以下学級の実施

6億4089万円  
 35人以下学級編制を、小学6年生までに拡充し、小・中学校全学年に適用することで、教員がこれまで以上に子どもたち一人一人と向き合える体制を強化します。

市が取り組む重点分野と主要事業について紹介します

不登校対策推進

7億8770万円  
 不登校児童生徒等の学校内の居場所となる在籍学級外教室「ステーション」について、市立小学校10校に新設するとともに、市立中学校における設置校を25校から35校に拡充します。また、社会福祉上の諸課題に対して専門的助言指導のできるスクールソーシャルワーカーを配置する拠点校を20校から40校に拡充し、一人一人の状況に寄り添った環境づくりや適切な支援の充実を図ります。

学びの多様化学校・フリースクール等へ通う児童生徒への支援

756万円  
 学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)に通う児童への就学援助・通学費支援を行うとともに、教育支援センター、フリースクール等の民間施設に通う児童生徒へ通所にかかる交通費を支援し、個々のニーズに応じた学習機会の確保につなげます。

いじめ防止等対策推進

17億9939万円  
 いじめの未然防止と早期発見・早期対応につなげるため、指導の中核を担う教諭やスクールカウンセ

特別支援教育推進

7億7608万円  
 セラー等を配置します。「いじめ等相談支援室 S-KET」などの相談窓口を運営し、いじめに悩む児童生徒等への支援を行うほか、社会全体でいじめを防止するための広報啓発など、いじめ防止対策を総合的に推進します。

インクルーシブ推進教諭(専任の特別支援教育コーディネーター)を5つのモデル校に配置するなど、障害のある幼児・児童生徒一人一人を大切にした教育のさらなる充実を図ります。

GIGAスクール構想の推進

3億9182万円  
 児童生徒の情報活用能力を育成し、多様な学びを通して豊かな創造性を育むため、ICTを活用し



ICTを活用して、児童生徒が自ら問題を発見し、解決を試みる「主体的な学び」につなげます

学校における働き方改革の推進

26億4318万円  
 学校における人員体制の拡充を進めます。また、全市立学校に導入している校務支援システムに入力された情報を一つの画面に集約・可視化できるダッシュボード機能を導入し、児童生徒の状況の迅速な把握や効果的な施策展開に活用するなど、一人一人にしっかりと向き合える体制づくりに取り組みます。

新たな学生フリーパス制度

4億7724万円  
 学生の移動支援と公共交通の利便性を図るため、宮城交通と交通局の路線バスが乗り放題となる新たなフリーパスを導入します。

科学館・天文台魅力向上

7億5637万円  
 科学館における展示物の更新等

を通して、理科教育および防災教育の充実を図ります。また、より多くの市民が宇宙天文に興味を持ち、子どもたちが楽しく学べるよう、移動天文車「ベガ号」の車台の更新等を行います。



市内の公園や市民センター等で、移動天文車「ベガ号」による天体観望会を開催しています

その他の主要事業

- 確かな学力育成 3億8555万円
- 学習指導要領を踏まえた教育の充実 2218万円
- 仙台自分づくり教育推進 7364万円
- 社会全体で子どもを育てる環境づくり 5189万円
- 学都推進 1155万円
- 仙台市図書館振興計画推進 981万円

※4〜9ページの主要事業では、一部の事業費の中に、再掲分が含まれます  
 ※金額はいずれも1万円未満切り捨て